

# 関西大学地域再編まちづくりにおける 拠点形成型関西大学モデルの今後の活動の拡がり

地域再生センター ④ものづくり ⑥生活支援 ⑪社会基盤分野

江川直樹\*1、建築環境デザイン研究室、出町慎\*2、3、辻村修太郎\*2、植地惇\*2、3、関谷大志朗\*2、3、三浦紋人\*4

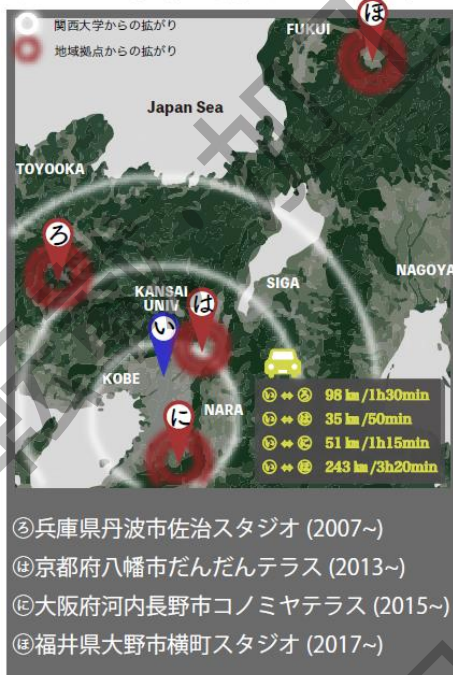
(\*1環境都市工学部 建築学科 教授) (\*2一般社団法人カンデ) (\*3関西大学佐治スタジオ) (\*4大野市地域おこし協力隊)

## 研究概要・成果

### 【研究概要】

2004年に発足した関西大学建築環境デザイン研究室は、今年で16年を迎える。地域再編まちづくりにおける拠点形成型関西大学モデルにおいて、これまでに365日オープンした4つの地域拠点(図1.③④⑤⑥)の立ち上げ・運営を行い、「地域に関わり続けながら、持続的で良好な集住環境の形成のための活動および研究」を積み重ねてきた。それぞれの拠点では、「関わり続ける」「協働と実践」「集住環境の形成」「住民主体のまちづくり」「リノベーション」「多世代コミュニティの創出」といった建築環境デザイン研究室として共通したキーワードを共有しながら、それぞれの地域にある、「地域性」に寄り添いながら活動を展開してきた。本稿では、上記のキーワードから伺い知れる地域再編拠点の成果を写真(図2~5)で振り返りながら、関西大学と各地域、あるいは地域同士のネットワークを示し(図1)、今後の活動が人的・物質的・空間的に拡がるイメージを提示したい。

【研究成果】4つの拠点の写真(図2~5)から、関西大学地域再編まちづくりにおける拠点形成型関西大学モデルが、地域ごとに多様な活動を展開していることがわかる。



- ③兵庫県丹波市佐治スタジオ (2007~)
- ④京都府八幡市だんだんテラス (2013~)
- ⑤大阪府河内長野市コノミヤテラス (2015~)
- ⑥福井県大野市横町スタジオ (2017~)

図1. 関西大学と各拠点の拡がりのイメージ



図3. だんだんテラスでの活動風景



図4. コノミヤテラスでの活動風景



図2. 佐治のまちを舞台に地域住民が協働する風景



図5. 横町スタジオでの活動風景

## 応用分野、実用化可能分野

### 【多地域・多拠点ネットワーク構築による今後の活動の展開】

- ・上記、地域再編まちづくりにおける拠点形成型関西大学モデルにおいて、新規に関わる地域との公民学協働まちづくりの実践的研究。
- ・多世代が集う環境の再編、高大連携地域再編まちづくり、スーパーシティとまちづくり。

問合せ先: 関西大学 環境都市工学部 江川直樹 E-mail: egawa@kansai-u.ac.jp

関大ORDIST

先端科学技術推進機構

社会連携部 産学官連携センター、知財センター、イノベーション創生センター